

放課後等デイサービス 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和6年4月30日

事業所名：Libra

保護者等数（児童数）29 回収数 17 割合 57%

【当事業所における保護者評価の実施方法について】

・NPO法人そらで開設する児童発達支援「発達支援ルームこねっく」および放課後等デイサービス「Libra」に対する保護者評価は、率直なご意見をいただくため、記入していただいた調査用紙を密封して無記名で事業所職員に渡すか、投函していただき、開封、集計をしました。

・「はい」が回収数全体の8割を超えた項目は数字を太字にしました。反対に「はい」が**全体の6割以下の項目は数字を赤字**にしています。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	0	0	1	ご意見欄への記入はありませんでした	子どもたちの特性に合わせて空間を区切っているため（6部屋）、もっとも広い部屋でも28.8㎡（プレイルーム）ですが、全体としては144㎡の広さがあります（参考：公立小中学校の普通教室の平均は64㎡）。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	16	1	0	0	ご意見欄への記入はありませんでした	法定の配置数はもちろん満たしていますが、職員の人数が子どもとのあいだで十分な人数であるかどうかは保護者の立場から分かりにくい部分と思います。 子どものことをよく観察されているという実感や保護者からの相談に適切に応じられたという安心感を持っていただけるようにする事と、研修に努めます。

	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	0	0	4	ご意見欄への記入はありませんでした	Libraのあるビルは大きめの建物であるため、建築基準法だけでなく、府の「福祉のまちづくり条例」をクリアする必要がありますが、物理的な障壁の解消度はかなり高いです。 ただ、知的障害・発達障害の子どもたちを多く受け入れている事業所としては、子どもたちにとってわかりやすい環境やプログラムこそが「バリアフリー」ですのでそのための構造化を大事にしていきたいです。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	15	1	0	1	ご意見欄への記入はありませんでした	「放課後等デイサービス計画」とは「個別支援計画」のことです。 個別支援計画が形式的な書類のやりとりとなることがないように、時間をかけて十分な説明をしていきます。
	5	<u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	14	1	0	3	ご意見欄への記入はありませんでした	日々の活動も勿論ですが、滞在時間が長くなる長期休暇中等のプログラムが充実していけるよう考えていきます。 Libraに来ている子どもたちは、障害種別もさまざまであり、同じひとつの活動をみんなで楽しむ難しさはあります。そのため、子どもたち全員で何かをするよりも、子どもひとりひとりに応じた個別プログラム設定を大事にしていますが、保護者に向けて今後の説明に努めていきます。

6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	2	7	8	ご意見欄への記入はありませんでした	公園あそびなどで、地域の子どもたちや保護者の方々と関りを持つことはありますが、交流や活動としての設定はしていません。 なお、法人全体としては事業所の施設設備を学生ボランティアと子どもが関わる事業を実施したりしています。
7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	0	1	0	ご意見欄への記入はありませんでした	利用契約書や重要事項説明書、個別支援計画等を通じて説明させていただいていますが、特に支援内容については変動していくものですので、面談などを丁寧な説明をして参ります。
8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	1	0	0	ご意見欄への記入はありませんでした	今後のご家庭や学校での様子も日々お聞きしながら、生活全体の状況を踏まえた支援にあたります。
9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	1	1	0	ご意見欄への記入はありませんでした	働いておられてお忙しい保護者の方が多いとは思いますが、今後とも定期的な面談の機会を定めていきます。
10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	4	2	4	ご意見欄への記入はありませんでした	事業所としての保護者会はないのですが、「親の会」による活動を支えていたボランティアグループが法人の前身ですので、現在も地域の親の会の運営を全面的にサポートさせていただいています。

保護者への説明等	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	2	0	2	ご意見欄への記入はありませんでした	<p>苦情解決窓口については事業所入口横に掲示をさせていただきます。</p> <p>それでも、「わが子」のこと以外については苦情対応がどのようになっているのか、わかりにくいはずです。</p> <p>苦情が言いやすい信頼関係を保護者との間で築いていきます。</p>
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	0	0	0	ご意見欄への記入はありませんでした	<p>ガイドラインでは視覚障害や聴覚障害を意識した項目ですが、わかりやすい情報伝達はどんな子ども保護者にも重要です。知的障害・発達障害の子どもたちへのコミュニケーション支援の手法は、相手を問わず広く役立てられます。目で見てわかりやすいコミュニケーションに努めます。</p>
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	1	0	5	ご意見欄への記入はありませんでした	<p>法人としては、ホームページ、Twitter、Instagramなどを開設しております。事業所の入り口横にも提示しています。</p>

	14	個人情報に十分注意しているか	14	1	0	2	ご意見欄への記入はありませんでした	個人ファイルは鍵のかかるロッカーに保管しており、職員との雇用契約時には守秘義務について明文化して徹底させています。 Libraは子どもたちが来ていない時間帯にも、ペアレントトレーニングや不登校親の会、ひとり親家庭の子どもの居場所などで活用していますので、事業所職員以外も出入りする場所です。情報の取り扱いには細心の注意を払って参ります。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	3	1	5	ご意見欄への記入はありませんでした	緊急時対応や感染症対応についてはマニュアルが作成されていますが、周知ができていません。いつでも確認していただけるようにします。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	1	1	2	ご意見欄への記入はありませんでした	実施曜日で訓練参加者が固定されないようにすることを心掛けて、取り組んでいきます。また、訓練実施については事前に保護者の皆様にもお知らせするように致します。
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	17	0	0	0	ご意見欄への記入はありませんでした	Libraという場を整えるだけでなく、学校や家庭での生活が安定するように、保護者や相談支援、学校等と連携していきます。

満足度	18	事業所の支援に満足しているか	16	1	0	0	ご意見欄への記入はありませんでした	満足している方しか事業所を使い続けませんか、今の利用者向けの調査で「はい」が多いのは当たり前です。今後とも丁寧な支援ができるよう努めていき、満足していただけるようにしていきます。お気づきの点や、ご要望等がありましたら個別でご相談ください。

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所評価を行っていただき、その結果を集計したものです。